



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2022.7.29 No.2

大会宣言(案)

私たち、JR 東日本輸送サービス労働組合山梨支部は本日、山梨県立図書館において、第4回定期大会を開催した。会社によるあらゆるハラスメントをなくし不当労働行為を許さず、「安全」「働きがい」「生きがい」と将来に希望が持てる JR 東日本を職場から「すべての仲間」と共に創りだすことを満場一致で確認した。

第26回参議院議員選挙では、山梨支部として支持した宮沢ゆか氏は惜敗をしてしまったが、確認した「ハラスメントのない健全な会社や公共交通機関の整備」を推し進めるために、今後も連帯を図っていく。

新型コロナウイルスは第7波に突入し、現在も落ち着きをみせてはいない。組合員の感染も拡大しており、いつ、どこで感染するかわからない。今、私たちがすべきことは感染対策をしっかりと行いながら、担っている業務を遂行すること、労働運動を進めていくことだ。

感染が収まらない中、会社は「社員・家族の幸福の実現」ということで、不要不急といってもおかしくない状況下で大規模な異動を行った。本人の希望を全く考慮しない異動に、仲間の中には、「自宅から職場までが遠距離になってしまった」「生活設計が完全に狂ってしまった」と不満が続出し簡易苦情処理の提出が増えている。これが「社員・家族の幸福の実現」と言えるのだろうか？2020年4月から始まったジョブローテーション施策は、社員のモチベーションの低下だけでなく、不定期な異動であることから異動先の職場が余裕をもった教育体制が取れないという問題が継続して発生している。「安全性」や「専門性」更に「社員・家族の幸福の実現」にあまりにもかけ離れたジョブローテーション施策の「中止・見直し」を会社に求め続けていく。

感染対策をしっかりと行い、「エッセンシャルワーカー」として公共交通機関を担ってきている中で、会社は2023年ダイヤ改正時に、甲府営業統括センターと甲府運輸区を統合し「甲府統括センター」を発足すると提案を行った。内容には「～あるかもしれない」「検討中」の文言ばかりで、具体的に何も決まっておらず、施策実施ありきの姿勢が明白である。営業統括センターが発足された現在も「見極めが曖昧で、本人が不安を抱えたまま1人業務にさせる」「除草の際の営業職と乗務員の線路立ち入りのルールの違い」等、様々な問題も発生している。効率化によって「安全」が軽視されることはあってはならない。一人一人が「自分たちのやるべき本来業務は何なのか？」もう一度見つめ直し、議論していこう！

会社からの不当労働行為は今も続き、ある職場において身体に障害を抱える社員への「合理的配慮」という企業としての責任を一切果たさず、本人希望や悩みを無視し管理者は恫喝を繰り返し強制配置転換を行った。会社は調査した上での回答や見解を示さず「回答を差し控える」と繰り返した。すべての弱者に対する配慮は生きるものとして当然のことである。現在も一部の管理者からは人間性を疑うパワハラが行われている。

不当労働行為は犯罪である。あらゆる手段を活用し、社会から逸脱しようとする企業体質を改めるために不当労働行為に「No!」と突き付けていこう！

私たち JR 東日本輸送サービス労働組合は、一人ひとりの仲間が「働きがい」「生きがい」のある職場環境をつくり「安全で安定した輸送サービス」を提供する労働組合である。今、この時間もそれぞれの職場で奮闘する仲間とともに私たちが担っている「本来業務」を守り「人を大切にする」という健全な JR 東日本・グループ会社をつかっていこうではないか！

以上宣言する。

2022年7月28日
JR 東日本輸送サービス労働組合
八王子地方本部 山梨支部
第4回定期大会

山梨支部第4回定期大会
大会宣言
満場一致で採択！



働きがい！生きがい！心の豊かさ！が実感できる

JR 東日本を全ての仲間につかっていこう！

